



Governor's Monthly Letter

2023-24



GOVERNOR

Eibun Yasuyuki

OFFICE

Kobe Portopia Hotel 722,6-10-1,
Minatojima-Nakamachi,Chuo-ku,
Kobe,Hyogo,650-0046,Japan

12

Jun.2024



2680地区戦略計画（2023-2026年）

1. より大きなインパクトをもたらす

- ロータリー財団補助金を活用し、地域社会や世界で良い変化を生み出すインパクトのある奉仕プロジェクトを実践する。
- ロータリーのブランドと公共イメージの向上に努める。

2. 参加者の基盤を広げる

- クラブの会員組織強化に努め、仲間を増やす。
- 多様な人々の参加を促し、DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）を実現する。
- 青少年の活動を支援し、若いリーダーの育成に努める。

3. 参加者の積極的なかわりを促す

- 全クラブが将来のビジョンや戦略計画を策定する。
- My ROTARYの登録を推進し、積極的に活用する。
- 地区やクラブが実施する行事やセミナーに積極的に参加し、感動的な体験を積み重ね、ロータリーの理解を深める。

4. 適応力を高める

- オンライン技術の能力を高め、社会の変化に迅速に適応する。
- ハラスメントのない環境作りに努める。

数値目標

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ●会員増強 | 各クラブ純増毎年1名以上 |
| ●My ROTARY登録率 | 75%以上 |
| ●ロータリー財団年次基金 | 毎年1名あたり 160ドル |
| ●ロータリー財団恒久基金 | ベネファクターまたは
遺贈友の会会員 毎年10名増 |
| ●ポリオプラス基金 | 毎年1名あたり 40ドル |
| ●米山記念奨学会 | 毎年1名あたり 17,000円 |

Be（どうあるべきか）

Know（何を知っているのか）

Do（何をすべきなのか）

今月の表紙「三田ロータリークラブ例会場 三田ホテル」

ウディタウン中央駅に隣接しているシティホテル。とは言え、自然の景観をうまく取り入れ周辺の街並みを感じさせない優雅な佇まいを醸し出している都会派ホテルです！

CONTENTS

月信12号

GOVERNOR'S LETTER.....	1	能登半島地震支援	
第44回RYLAセミナー.....	4	やなぎだハウス寄贈車 贈呈式.....	11
第3期ロータリー・リーダーシップ研究会 （RLI）パートⅢ.....	5	4月の地区活動記録.....	12
神戸まつり おまつりパレード.....	6	ガバナー事務所からのお知らせ.....	12
クラブ管理運営セミナー.....	7	コーディネーターNEWS 2024年5月号...	13
環境セミナー.....	8	新会員のご紹介.....	16
2024学年度ロータリー米山記念奨学生・ カウンセラーオリエンテーション.....	9	ご寄付ありがとうございます.....	16
IYFR神戸フリーストJAPAN 創立30周年パーティー.....	10	訃報.....	17
		会員数報告	

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブの皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 安行英文 (三田)

親睦月間について

シカゴロータリークラブは、当初、親睦だけのクラブが、ポール・ハリスは、1907年頃から親睦団体のクラブに奉仕の概念を入れようとしています。このときのポール・ハリスの考えは『最初に親睦があって、その上に、つまりより高次の概念として奉仕があるのだ』と考えました。ですので、奉仕と親睦が衝突する場合、親睦を押さえて奉仕が生き残るべき概念だという立場をとっていました。しかしその結果は、ガタガタに親睦が成り立たなくなります。そこで、この親睦と奉仕との概念は同レベルで捉えるべきで、ロータリークラブの中ではいずれを優位にさせてもいけないと考えるに至ったのです。

1910年、ポール・ハリスが全米ロータリークラブ連合会初代会長に選任されたときから、この考えを書き起こし、連合会幹事チェスレー・ペリーが編集長になってできあがった機関紙が「The National Rotarian」で、この創刊号に上記のポール・ハリスの論文が掲載されたのでした。時は1911年1月26日です。

この掲載論文で、彼は「自分はロータリーの創立者として、神の思し召しにより、一段と高い所に昇ることを許され、ロータリーとは何かを問われれば、自分は躊躇することなく、寛容と答えるであろう」と述べています。つまり、ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿ると言っているのですね。

森本アンリ氏著「不寛容論、アメリカの生んだ共存の哲学」によると寛容とは外部を取り込むための概念と述べられています。まさに、自分独りよがりでは無く、何事にも多様な考えや、関係があって、決して1つの答えではなく、諸々の要素が組み合わさって物事が進む、あるいは成り立っているのです。

「ミリンダ王の問い」という題名の経典があります。これによると、紀元前180年頃のインドは分裂の時代であって、勢力が弱まったところに、現在のパキスタンの北部からギリシア人の諸王が相次いで侵入してきました。そしていくつかの王朝を成立させています。この中の有名な1つの国にミリンダ王がいました。彼が発行した貨幣は現在のイギリスのウェールズ地方でも見つかっています。

その彼が仏教の尊者ナーガセーナを訪ねて行った話が残っています。「名前の問い」です。

ミリンダ王は尊者ナーガセーナにこう言いました。「いかにして、あなたは尊者として知られているのですか。尊者よ、あなたはなんという名ですか」そうすると、ナーガセーナは「大王よ、私はナーガセーナと知られています。しかしながら、大王よ、このナーガセーナというのは、実は名称、呼称、仮名、名前のみにすぎないのです。そこに人格的個体は認められない



のであります」と。これにはミリンダ王はびっくりしました。「みんなよく聞け。このナーガセーナ尊者は、ここに人格的個体は認められないと言ったのだぞ、それをみんな信じ得るだろうか」。ギリシアの哲学では魂というものをだいたい認めます。それに基づいて個体があると考えています。だから、ナーガセーナの言うことはとんでもないことだと思うわけです。そこで彼は質問を發します。

「あなたの名を皆はナーガセーナと呼んでいますが、その場合の、ナーガセーナと呼ばれるところのものは、いったい何ものでしょうか。尊者ナーガセーナよ、髪の毛がナーガセーナなんでしょうか」「大王よ、そうではありません」「身体の毛がナーガセーナなんでしょうか」「大王よ、そうではありません」「爪がナーガセーナなんでしょうか」「大王よ、そうではありません」

以下、身体の各部分について同様の質問をしていきます。このようなものをずっと挙げて、1つ1つ、このどれがナーガセーナなのかと問います。そうすると、ナーガセーナは「いや、そうではありません」と返事するのです。それで今度は、ミリンダ王は少し哲学的な言葉を使って質問します。

「尊者よ、かたちがナーガセーナなのですか」「大王よ、そうではありません」「感受作用がナーガセーナなのですか」「大王よ、そうではありません」「表象作用がナーガセーナなのですか」「大王よ、そうではありません」「形成作用がナーガセーナなのですか」「大王よ、そうではありません」「識別作用がナーガセーナなのですか」「大王よ、そうではありません」と。

ここに、物質的なかたち、感受作用、表象作用、形成作用、識別作用とわれわれの個人的存在を構成している要素のことを言っています。

「しからば、尊者よ、かたち、感受作用、表象作用、形成作用、識別作用の合したものがナーガセーナなのですか」「大王よ、そうではありません」「尊者よ、しからば、これ以外にナーガセーナがあるのですか」「大王よ、そうではありません」

ついに、ミリンダ王はこう言います。「尊者よ、わたしはあなたに幾度も問うてみたのに、ナーガセーナを見いだし得ない。尊者よ、ナーガセーナとは実は言葉のことにすぎないのですか。しからば、そこに存在するナーガセーナとは何ものなのですか。尊者よ、あなたはナーガセーナは存在しないと言って、真実ならざる虚言を語ったのではないでしょうか」。ナーガセーナを見いだせないミリンダ王からしてみれば、では、ナーガセーナというのは言葉のことにすぎないのか、それならば、いまここに自分に面と向かっている相手のナーガセーナとは何ものなのだろうか、目の前にいるじゃないか。しかし、ナーガセーナというものは存在しないという、つまりナーガセーナという実体は存在しないという、これは嘘を言っているのではないか、と思いました。

そうすると、こんどはナーガセーナがミリンダ王に反問します。「大王よ、あなたはいったいここまで歩いてやってきたのですか、それとも乗り物で来られたのですか」「尊者よ、私は車でやってきました」。その答えを聞いてナーガセーナは、車を構成する部分について、問いかけます。「大王よ、あなたか車でやって来たのでしたら、何が車にいるかを私に教えてくださいませんか」「大王よ、轆（ながえ）が車な



のですか」「尊者よ、そうではありません」
「軸が車なのですか」「尊者よ、そうではありません」
「輪が車なのですか」「尊者よ、そうではありません」
「車体が車なのですか」「尊者よ、そうではありません」
「車棒が車なのですか」「尊者よ、そうではありません」
「輓（くびき）が車なのですか」「尊者よ、そうではありません」
「しからば、大王よ、輓、軸、輪、車体、車棒、輓の合したものが車なのですか」「尊者よ、そうではありません」

たしかに、ただ寄せ集めただけでは車にはなりません。「しからば、大王よ、輓、軸、輪、車体、輓のほかに車があるのですか」「尊者よ、そうではありません」。そこで、ナーガセーナはこう言うのです。「大王よ、私はあなたに幾度も問うてみましたが、車を見いだし得ませんでした。大王よ、車とは言葉にすぎないのでしょうか。しからば、そこに存在する車は何ものなのでしょう。大王よ、あなたは車は存在しないと行って、真実ならざる虚言を語ったのです」

ほれ、ごらんささい、王様、あなたは部分部分についてそれは車じゃないと言いました。車とは言葉にすぎないのですか、じゃあ、車がないことになるけれども、そこにある車は何ですか。そうすると、嘘を言ったことになりはしませんか、そう言ってやり込めたのです。

そこで、ミリンダ王は尊者ナーガセーナにこう言いました。「尊者ナーガセーナよ、私は嘘を語っているのではありません。輓に縁（よ）って、軸に縁って、輪に縁って、車体に縁って、車棒に縁って、車という名称、呼称、仮名、通称、名前が起こるのです」

つまり、部分部分がバラバラにあったり、た

だ積み重なっただけでは、車にはならないのです。それぞれ適当な位置を占めて、相互に連結することによって、そこで仮に車という名前が出来あがる。つまり、縁によって起こることです。いろいろなものが寄り集まって個々のものができている、そういうわけです。

そうすると、ナーガセーナが申します。「大王よ、あなたは車を正しく理解されました。大王よ、それと同様に、私にとっても、髪に縁って、身毛に縁って、かたちに縁って、感受作用に縁って、表象作用に縁って、形勢作用に縁って、識別作用に縁って、ナーガセーナという名称、呼称、仮称、通称、単なる名が起こるのです」

つまり、身体の部分もあるし、さらに体のなかで働いている精神的ないろいろな作用もある。色々な人間や諸々の関係、そういうものによって、ナーガセーナ個人という仮の名前がここに付けられているのだというわけです。ですので、究極の立場から見ると、ここに人格的な個体は存在しないと言ったのです。

ですので、ロータリーで言う親睦もその根底には、さまざまな人々やもの、その他色々な関係に縁って成り立っているのです。

ひとり一人の個人であってもその個人を構成しているのは全ての関係に縁ってロータリアンになるのです。そのうえで親睦と奉仕というものが成り立つのではないのでしょうか。ゆめゆめこのことを忘れないように。

4月11日(木)～14日(日)◆神戸YMCA余島野外活動センター

RYLA小委員長 北川 博崇(川西)

『桜』今年のRYLAは、桜満開&晴天&平均気温23℃と言う素晴らしい環境の中で開催する事が出来ました。第44回RYLAセミナーを4月11日より3泊4日、受講生32名が集いCovid-19以前のフル規格で開催させて頂きました。

開講式講演は三木明顧問から『わたしたちのRYLA』と題しロータリーとは、RYLAとは、私たちが46年間の長きに渡り、若い世代に何を伝え何を学んで貰いたいのか！という内容を簡潔にそして壮大に伝えて頂きました。夕食は恒例のオープニングパーティーが開催され、今日会ったばかりの受講生が受講生同士だけではなく、ロータリアンとも気さくに話せる近い関係になれました。

2日目 第1講演は株式会社ココウェル代表取締役 水井裕社長に『ココナッツで考える未来の食と環境』と言う演題で、ご自身の生い立ちからフィリピンと言う国との出会い。国に渡った時、衝撃的なフィリピンの貧困状況を目のあたりにして何とかこの国の子供達の生活環境を改善したいと言う気持ちと行動。生活環境、環境問題だけではなく、メンタル問題にまで踏み込み、受講生にエールを送って頂きました。

第2講演は『リエゾンーこどものこころ診療所ー』監修でも有名な児童精神科の三木崇弘先生に『現代社会で自分の人生を生きる考え方』と題して少年期から青年期に入った受講生向けに講演を頂きました。先生自身の青年期の経験を話して下さった事から共鳴した受講生が多かった様で、講演後、私の元にも「感動した。凄く共感出来ました」と言う感想を伝えてくれた受講生が多く現れました。

興奮冷めやらぬ間もなく、次は受講生が1人きりになり誰とも話さずに過ごす時間『思索の

時間』を迎えました。静かに自分と向かい合い人生を見つめなおした事でしょう。

気持ちも落ち着いたところで、次のプログラムは、レクリエーション。1人ではなく、チームで考え参加するもので、安行ガバナーの主導で繰り広げられました。ここで一気にチームの結束力は増しました。

夕食時、メインプログラムのフォーラムテーマが発表されました。

この後、チームごとに分かれて夜遅くまで活発なバズセッションが実施されました。

3日目 朝からフォーラムの準備。午前中は模造紙にまとめる人。発表する時の原稿をまとめる人。発表する人の練習。など皆がそれぞれの役目を果たそうとする姿を見る事が出来ました。

フォーラムが始まり、各チームが順番に発表しました。

ここからフォーラムリーダーの安行英文ガバナーとコメンテーターの黒田建一青少年奉仕委員長により、各チームの内容やストーリーを更なる深みへといざなっていました。

最終日は安平和彦顧問から『これからの生き方』として、過去、現在、未来を分解し、理解をするキッカケを気づかせて頂きました。

RYLA初日に不安そうだった32名の姿でしたが、最終日には自信に満ちた姿を見せてくれました。問題と向かい合い、乗り越え、力を合わせる大切さを学び、自信と笑顔を獲得してRYLAを終了いたしました。

受講生はスポンサークラブで報告をさせて頂きます。是非報告会を楽しみにお待ちください。



第3期ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートⅢ

4月14日(日)◆園田学園女子大学 櫛和館 4階

RLI副委員長 **太田 叶子**(尼崎東)

4月14日(日)快晴のお天気の中、9時30分より17時30分まで園田学園女子大学においてRLI研修パートⅢを開催いたしました。参加者総勢40名、うち受講者20名。

矢野宗司RLI委員会カウンセラーからのご挨拶に続き、太田叶子RLI副委員長より地区役員・ファシリテーターの紹介ののち、諸注意の説明が行われ、10時より3つのゼミ室に分かれ午前に2会議、午後から4会議を行いました。パートⅢ セッションテーマ1～6と担当ファシリテーターは下記の通りです。

セッション1「ロータリーの機会」

芝田一夫(川西) 齊藤竜政(尼崎北) 小野敏国(尼崎北)

セッション2「効果的なリーダーシップ戦略」

平山敏次(尼崎北) 大海昌栄(尼崎東) 廣島茂雄(洲本)

セッション3「ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕」

勇正一郎(尼崎東) 山本章太郎(宝塚) 二宮明彦(甲子園)

セッション4「公共イメージと広報」

篠田欣一(明石東) 矢納利夫(西脇) 太田叶子(尼崎東)

セッション5「規定審議会・決議審議会」

大見春樹(篠山) 賛田 肇(宝塚) 名越 亮(川西)

セッション6「変化をもたらす」

吉川 悟(明石北) 橋本雅彦(姫路東) 深田俊郎(柏原)



セッション風景

セッション終了後、受講者20名を代表して安部則行会員(南淡路)が修了証書を、また今回のパートⅢ研修を以って全てのパートを終了された岸本敏裕会員(尼崎北)、石川真次会員(尼崎北)、吉村健会員(尼崎北)、越山裕之会員(尼崎東)、波川幸枝会員(川西)、田川淳会員(川西猪名川)、横山裕行会員(宝塚)、土田博幸会員(柏原)、井上雅仁会員(柏原)、神津科野会員(神戸西)、大西和樹会員(加古川中央)、堀井幸恭会員(北条)、神谷栄幸会員(相生)、富田哲雅会員(龍野)14名を代表して波川会員に矢野RLI委員会カウンセラーより卒業証が授与されました。

修了証・卒業証授与後、矢野RLI委員会カウンセラーより「講義形式による学習効果は5%なのに対し、ディスカッションによる学習効果は50%に上がります。アクティブラーニングでロータリーを知ればもっとロータリーを楽しめますよ」と講評をいただきました。

橋本雅彦RLI副委員長より5月11日(土)に開催されるRLIパートⅠ～パートⅢ修了者の方の為の「卒後コース」の告知をさせていただきました。

最後に山口幸次期代表幹事より「パートⅠからパートⅢのセッションを重ねていくとともに参加者の皆様が本当にRLIを楽しんでおられることが見られました」と閉会のご挨拶をいただき、RLIパートⅢが閉会されました。

今期も園田学園女子大学の施設使用に関し、齊藤悦一理事長(尼崎東)の格別のご配慮を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。



RLIパートⅠ・Ⅱ・Ⅲ修了者代表
波川幸枝会員(川西)



RLIパート修了者代表
安部則行会員(南淡路)



RLIパートⅢ修了者及びRLI委員会 集合写真

4月21日(日)◆三宮フラワーロード

ポリオプラス小委員長 **宮岡 督修**(小野加東)

昨年から始めたロータリーファミリー結集型のパレード。今年は、神戸で開催される神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会との兼ね合いで、例年より約1ヶ月早い4月21日の開催となりました。

雨の予報が続く中、願いも虚しく雨の中の開催となり、近田幼稚園の幼児達によるマーチングバンドとの合同パレードは実現せず、参加を危ぶまれましたが、主催者のご配慮により、私達ロータリアン、ロータリーファミリーの行進だけでも参加を許可され、元ミスユニバースを乗せた、真っ赤なオープンカーの先導車の後、安行英文ガバナー、矢坂誠徳ガバナーエレクト、城守ガバナーノミニーと私とでポリオ根絶横断幕を掲げ、その後を交換留学生や米山奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリーファミリー、ロータリアンで国際色豊かに、また老若男女が揃って世界からのポリオ根絶を訴えました。ロータリークラブが、世界中

でポリオ根絶活動を行っている事をアピールして来ました。それぞれが雨の中、カップや傘をさしてのパレードで大変でしたが、そんな中でも沿道に駆けつけてくださった市民の方々に全員が手を振って、全身で感謝の気持ちを伝えて来ました。

今回のパレードは、私達の活動を1人でも多くの方々に知って頂き、ロータリーの活動に共鳴、共感頂ける機会となり、ロータリアンの仲間が増え、ポリオ根絶が1日でも早く実現することができる。そんな世界が必ずや訪れると実感できる1日でした。

ご参加頂きました皆様、本当に雨の中お疲れ様でした。沿道より応援頂きました皆様ありがとうございました。

最後になりましたが、記録取材協力をして頂きました、公共イメージ委員会の皆様ありがとうございました。



4月21日(日)◆レンタルスペースジェム神戸元町

クラブ管理運営委員長 **天羽 公夫**(甲子園)

セミナー当日は「神戸まつり」があり、雨が降る悪天候にもかかわらず58名のクラブ会長ノミニー、勇正一郎RLI委員会委員長をはじめディスカッションファシリテーターを担ってくださるRLI委員会委員の方々、そして当地区の役員の方々に御参加いただきました。

今回のセミナーは、本年度クラブ会長ノミニーの方々を対象に行いました。2ヶ月後の2024年7月から会長エレクト、その1年後の2025年7月からは、クラブ活性化に最も重要なリーダーであるクラブ会長になられます。

会長エレクト時代は会長までの1年間はクラブリーダーへの準備期間となり、いわゆるスキルアップの期間があります。その間に会長エレクトは何をするべきなのでしょう？また、何をしなくてはならないのでしょうか？そのことに気づいて頂く機会を提供するために、このセミナーを企画いたしました。



セミナー前半はクラブリーダーとして知っておくべき「ロータリー運動の枠組みに関する基本知識について」と題し、矢野宗司次期地区ラーニングファシリテーターに90分では足りないほど詳しく充実した熱のこもった講話をして頂きました。詳細は後日地区ホームページに掲載予定です。

後半は「チーム作りとクラブコミュニケーション」、「強いクラブを創る」の二つのテーマでセミナー参加者の方々に6グループに分かれて頂き、グループディスカッションを90分掛けて行いました。ディスカッションファシリ

テーターはRLI委員会の方々のご協力を頂きました。RLI委員会の方々には本年度のPETS、次期幹事研修セミナー、他複数の委員会セミナーにも協力されており、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



参加者の方々からのフィードバックはまだ詳細には頂いてはおりませんが、一部の方々から講話については「具体的で分かり易く今後に役立つ内容だった」、「定款、細則への意識が深まった」、「基本的なロータリー運動の理解が深まった」。また、ディスカッションについては、「参加者が同じ立場なので議論が深まった」、「他クラブの情報収集ができた」、「ファシリテーターの議論の進め方が良かった」といったお声を頂戴しております。

本セミナー受講により会長ノミニーのスキルアップがあり、各ロータリークラブが「元気なクラブ」になれるようにと願い、今後もこのようなクラブ活性化に向けての取り組みを通じ、ロータリークラブの使命を実現して頂きたいと考えています。



4月27日(土)◆神戸ポートピアホテル トパーズ

環境の保護小委員長 城 守(姫路)

環境月間の4月27日(土)、環境セミナーを開催しました。これは2021-22年度から2年間2回にわたる環境アンケートで最もご要望が多かった環境セミナーの開催に応えたものです。

セミナーのテーマを「共生・・・持ちつ持たれつ」として、3部構成としました。まず第1部は「森林を育てる」と題し、(株)山田林業の代表取締役山田尚弘氏(姫路)から環境保全に取り組んでいる企業として事例発表をしていただきました。「資源の乏しい国・日本において、山林はかけがえのない財産。きちんと守り育てれば、これからも尽きることがない山林の恵みの素晴らしさと、それを地域に循環させることができる。森林は木材を収穫するほかにも水源が枯れないようにしたり、自然災害を防いだりする役割も担っている」など、森林の持つ様々な機能を最大限に生かし、その働きを維持していくために活動されている企業の紹介をしていただきました。



第2部はさらに視野を広げて、自然との共生の実現を目指している自然環境調査会社(株)いっせい一成の代表取締役木下一成氏から「人と自然との共生」と題して講演していただきました。

「地球上の生物の量では圧倒的に多いのは植物で、その次は細菌である。もう無菌で生き物は暮らせなくなっており共生するしかない。地球上の水量の大部分は海水で淡水はわずか2.5%、その多くは氷河と地下水。河川や湖沼などの利用しやすい水は全体の約0.01%しかない。日本においても農林水産問題が山積している」など、地球規模の課題として大変わかりやすく紹介していただきました。



最後の第3部はテーブル毎に委員会メンバーの進行で出席者全員参加のディスカッションをしました。本日の講演を参考に「自然に負荷をかけない生き方とは」をテーマに活発な意見交換をしていただきました。



4月7日(日)◆神戸三宮東急REIホテル

米山記念奨学委員長 竹内 博(西宮)

ロータリー年度では2023-24年度が終盤戦となりますが、ロータリー米山記念奨学事業では新規学年度がスタートするため、2024学年度の奨学生・カウンセラーに対するオリエンテーションを開催しました。

このオリエンテーションは、まずカウンセラーにお集まり頂き、米山記念奨学事業の目的や使命、カウンセラーの役割、奨学生に行って頂かないといけない諸注意や世話クラブ補助費についてなどを学んで頂くとともに、個人情報の取り扱い、危機管理、行動規範やハラスメントについて再認識頂く場として毎年開催しております。そしてカウンセラーオリエンテーション終了後、奨学生にも参加をお願いし、奨学生の義務やロータリーとの交流についてカウンセラーと共にオリエンテーションを受講する事によって、奨学生としての義務を誠実に行って頂く確約書や個人情報の取り扱い同意書を提出

後、奨学生バッジを米山記念奨学会 滝澤功治副理事長より手渡されました。

今回は奨学生が在籍しているそれぞれの学校関係者にも参加頂き、総勢101名でのオリエンテーションとなり、その後の交流会にて、奨学生、カウンセラー、学校関係者、地区関係者との国際親善の第一歩がスタートしました。

各お世話クラブにて有意義な国際交流が展開されることを心よりお願い申し上げます。



4月25日(木)◆神戸メリケンパークオリエンタルホテル 海王

創立30周年副実行委員長 宮 昭久(神戸東)

創立30周年実行委員長の三木明パストコモドアをはじめ、村上功コモドア及び役員・前年度役員で創立30周年実行委員会を立ち上げ、無事開催することができました。

17時から受付・ウェルカムドリンク、天候にも恵まれ、飲み物片手にホテル宴会場横のテラスで「ワイワイガヤガヤ」楽しい時間のスタートです。18時から式典が開催され、三木実行委員長の開会の挨拶で始まり、RI会長ゴードン R.マッキナリー氏から祝辞のご披露もいただきました。また、RID2680安行英文ガバナーよりご祝辞をいただきました。

続いて懇親会が開催され、チャーターメンバーである三原孝公パストコモドアから挨拶、乾杯でスタートし、ご参加いただいた大阪湾フリート奥公男バイスコモドア・京都琵琶湖フリート吉田光一コモドア・瀬戸内しまなみフリート兵頭享治コモドア・東京フリート岩城義親フリートオフィサーからご挨拶をいただきました。

神戸フリートのメンバーも他フリートのメンバーもみんな「IYFRのメンバー!!」、ワイワイガヤガヤと楽しい楽しい時間はアツと言う間に過ぎていきました。総勢63名(内他フリートから18名)のご参加をいただき、盛大に楽しく開催することができました。



IYFR神戸フリート発足まで

- 1989年 神村正弘(姫路中央RC)、三木明(姫路RC)がソウル国際大会でIYFRに入会。
- 1990年 ポートランド国際大会でのIYFR AGMに於いて神村さんに日本でのIYFRフリートづくりを呼びかけられる。帰国後IYFRのメンバーであった三木さんと語らい発足に向け暗中模索の動きが始まる。以降、IYFRインターナショナルコモドアA・C・Mitchellさん(1991-93)と再三、文通しIYFRフリート設立の準備を始める。
- 1993年 6月 現在の大阪湾フリートの青木洋氏(大阪阪和RC、現大阪イブニングRC)と話し合い、日本にもIYFRのフリートを設立しようという呼びかけをした。
- 1994年 2月26日神戸須磨ヨットクラブに於いてIYFR神戸フリートJAPAN創立総会が開催される。
4月27日大阪湾フリート設立総会が開催される。
6月 12-15日に開催された台北国際大会で石井澄ガバナーと計馬忠ガバナーエレクトが認証状を受け取り、持ち帰ってくる(1993-95インターナショナルコモドア Jack C.L.Keyzer氏)。
6月18日 認証状伝達式(舞子ビラ)



5月16日(木)◆能登就労支援事業所 やなぎだハウス

ガバナー 安行 英文(三田)
ロータリー財団委員長 吉岡 博忠(伊丹)
社会奉仕委員長 喜多 美雄(加古川中央)

ガバナーである私、安行は長年神戸YMCAの役員であり、故今井鎮雄氏の遺志を継ぎ、25年以上ひょうご障害福祉事業協会が持つ3つの施設の法人理事をしている理由で、特に福祉についての関心を強く持っていました。そのため、1月1日の地震発生直後から、事業協会に指示を出し現地の施設、とくに珠洲や能登の施設の被害状況を把握した結果、支援の申し出があったのが「やなぎだハウス」でした。当施設の入居者の方々から、避難所でも生活に支障が出ていること、「現やなぎだハウス」の修理補強ができれば、直ぐにでも戻りたいとの要望をいただきました。移動に不可欠な現在の送迎用バンが長年にわたる使用のため老朽化が激しいこと、道路の寸断による長距離移動にせまられていることもあり、経費削減のためハイブリット車寄贈の要望がありました。それを受け、地区内関係委員会に諮り今回の寄贈を決定、当地区が持っている災害基金と地区補助金からの拠出をいただき要望どおりの7人乗りハイブリッド車を寄贈することができました。

「やなぎだハウス」への送迎車寄贈の経緯

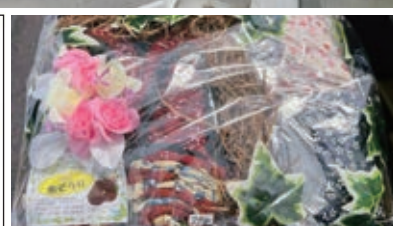
〈国際ロータリー第2680地区の理由〉

- ロータリアンは自分の責任において作るべき社会を守ろうとする志の持ち主である。
- ロータリーの活動を通してどれだけ共同体意識を持っているかという、連帯性を自ら示すべき団体である。(自分の為のみに生きようとすることを越え、他者と共に生きようすることはロータリーの理念である)
- 上から目線ではなく、常に『私とあなた』の対等な関係で考えている。
- 福祉とはもっと多様なものであるべきだ。(地域を越えたもの)
- すでに、大きな被害のあった石川県のロータリー2610地区に、兵庫県の各クラブ独自の義援金や支援のほか、610万円の義援金を送付している。
- 地区が持っている災害基金および、ロータリー財団からの補助金を申請して、今回の寄贈に結びつけた。

〈個人、およびロータリーの両方につながる理由〉

私たちは、DEI(多様性、公平、インクルージョン)を大切にしている。

その一貫として『福祉コミュニティ』をめざす。地域にいる我々は仲間だという意識を持ち、仲間の一員として共に住む社会でどのような貢献ができるのか、モノだけでなく、互いに寄り添い合える人間関係が生まれなければならないと考え、私を含め当地区内関係者が自ら運転し現地を訪れ、寄贈することとした。(これには距離や時間は関係なく作用する、このことが日本の地域社会を再生させる原動力となると確信している)



やなぎだハウスから感謝状及び御礼の品

◆ 4月の地区活動記録

日	時	行 事 名	場 所
1 (月)	16:00～18:00	2024-25年度 第2回ロータリー財団委員長会議	ガバナー事務所会議室
3 (水)	16:00～18:00	第5回社会奉仕小委員会	オンライン
6 (土)	15:00～17:00	第7回学友委員会	神戸ポートピアホテル パール
7 (日)	10:00～12:00	第7回米山記念奨学委員会	神戸三宮東急REIホテル ローズ
	13:30～18:30	2024学年度米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション	神戸三宮東急REIホテル ボールルーム
8 (月)	15:00～17:00	第9回地区財務委員会	ガバナー事務所会議室
10 (水)	16:00～18:00	2024-25年度 第2回会員維持増強委員会	神戸三宮東急REIホテル メイプル
11 (木)		第44回RYLAセミナー (～4/14)	神戸YMCA余島野外活動センター
14 (日)	9:00～17:00	第3期ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) パートⅢ	園田学園女子大学
	10:00～12:00	第9回青少年交換小委員会	神戸ポートピアホテル 北野
	13:00～16:00	第5回青少年交換派遣候補生オリエンテーション	神戸ポートピアホテル 布引
	13:00～16:00	第7回青少年交換来日生オリエンテーション	神戸ポートピアホテル 布引
15 (月)	17:00～18:30	第4回環境の保護小委員会	神戸ポートピアホテル パール
16 (火)	16:00～16:30	第5回臨時地区運営会議	オンライン
	18:00～20:00	第9回全インターアクトA研究会実行委員会	ガバナー事務所会議室
20 (土)	13:00～17:00	第8回補助金小委員会 (+第6回社会奉仕小委員会) 合同会議	神戸ポートピアホテル サファイア
	14:00～15:30	第4回会員維持増強委員会	神戸三宮東急REIホテル ローズ
21 (日)	13:30～17:30	クラブ管理運営セミナー	貸会議室レンタルスペースジェム神戸元町
		第51回神戸まつりおまつりパレード	三宮フラワーロード
24 (水)	16:00～18:00	第9回戦略計画委員会	神戸ポートピアホテル パール
25 (木)		IYFR神戸フリートJAPAN創立30周年パーティー	神戸メリケンパークオリエンタルホテル 海王
26 (金)	16:00～18:00	第7回社会奉仕小委員会	神戸ポートピアホテル パール
27 (土)	13:30～16:30	環境セミナー	神戸ポートピアホテル トパーズ
28 (日)	16:00～18:00	第7回DEI小委員会	神戸三宮東急REIホテル ローズ
29 (月)	10:30～16:45	2024年地区研修・協議会	神戸ポートピアホテル

ガバナー事務所からのお知らせ

◆クラブ事務局移転のご案内

姫路西ロータリークラブ (2024年6月3日(月)より)
 事務局住所: 〒670-0953 姫路市三条町1丁目31 姫路建設会館4階
 TEL: 079-280-8778 FAX: 079-280-6333

◆例会場等変更のお知らせ

神戸須磨ロータリークラブ (2024年7月より)
 例会場住所: ジェームス邸 〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町6-28-1
 TEL: 078-752-2266 (FAX不可・事務局にて対応します)
 例会開催日時: 水曜日 12:30～13:30
 ※ジェームス邸は本来水曜日定休日となっておりますので、休会中でもメークアップデスクの設置は対応しておりません。

◆近日開催予定 セミナー等のご案内

- | | |
|---|---|
| ■第11回全国インターアクト研究会
日時: 2024年6月15日(土)～16日(日)
場所: 神戸駅前研修センター | ■第46回ローターアクト地区年次大会
日時: 2024年6月16日(日) 12:00～18:00
場所: ホテルモントレ姫路 |
| ■感謝の集い
日時: 2024年6月28日(金) 17:30～19:30
場所: 神戸ポートピアホテル GOCOCU | |



LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを



**第3地域 ロータリーコーディネーター補佐
大森 克磨（大分キャピタルRC）**

私の職業分類は弁護士です。

私が所属する大分県弁護士会では、2023年1月に研修テーマとして、LGBTQ+の方々に関する法的問題が取り上げられました。

また、同年9月には、この問題が、九州弁護士連合会の定期大会の報告テーマにもなりました。

私自身も、現在、性別変更手続きを手がけており、LGBTQ+の方と接しておりますが、LGBTQ+の方々は既に身近な存在となっております。

さて、「LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを」（寄稿者：グラント・ゴディノ [オーストラリア] 会員）というタイトルの記事を目にしたのは、3、4年前のことで、おそらくロータリーの友ではなかったかと思います。

ロータリーは、「多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の原則」を大切にしておりますし、また、ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでおります。

ロータリーの捉えるハラスメントとは、「大まかに定義すると、個人またはグループを、以下の特性に基づいて、言葉であれ身体的であれ、脅迫、中傷、侮辱または攻撃する言動を指す：年齢、民族、人種、肌の色、障がい、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認。（ロータリー章典 26.120. 会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境から抜粋）。」とのことです。

しかし、LGBTQ+の方々への接し方はDEIの観点からだけではありません。

LGBTQ+の方々の人口割合は、2022年鹿児島県弁護士会の調査では全人口の約8%、2023年電通ダイバシティ・ラボ調べでは約9.7%、と推定されており、数字のブレは多少あるものの、相当数いらっしゃると思います。

私はロータリーコーディネーター補佐であり、その任務は、ロータリーコーディネーターを補佐して、会員増強や戦略計画策定の普及などを図ることとなります。

日本では、女性（この場合は生まれながらに与えられた性が女性）の会員が10%に満たず、女性のロータリアン獲得を目指さなければなりません。上記の数字をみれば、LGBTQ+の方々も大きな会員増強のターゲットであることが分かります。

LGBTQ+の方々は、我々ロータリーにとっては、DEIの問題だけではなく会員増強のターゲットと考えるべきだと思います。



（九州弁護士連合会での配付資料）



手っ取り早くブランディング



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 深尾 兼好 (鹿児島西RC)

先日、地域リーダー会議で東京にメンバーが集まった折、面白い議論が持ち上がりました。「正式ロゴのバッジをつけているメンバーがほとんどいないのはどうして」「昔のバッジに愛着があるのよね」「横長のバッジはすぐにひっくり返る」「バッグがバッジに引かかる」「ROTARYと此れ見よがしに入っているのも気が引けて」「徽章に限りマークのみの使用を認めているのも中途半端」

「でもロータリーのブランディングを推進しているRPIC、ARPICは正式ロゴのバッジをつけるべきだね」・・・と喧々諤々。謙譲の美德=陰徳を是とした時代から一転して、素晴らしい行為はあらゆる手段を講じて社会に伝えるべしという公共イメージの向上が叫ばれ始め、その一環としてのブランディングが重要課題となっています。ブランディングとはロータリーの理念をベースに行動指針を定め視覚や言語を通じて社会の情感にアプローチすること。決してロゴデザインをガイドライン化し管理するに留まるものではありません。

私は長年、広告という業界に身を置き、嘗て多くの企業のCI（コーポレート・アイデンティティ）戦略（ブランディングという言葉が一般化する以前の企業のイメージ戦略）に携わってきましたが、MI（マインド・アイデンティティ）=企業理念とBI（ビヘビア・アイデンティティ）=行動指針、この両者を表現するVI（ビジュアル・アイデンティティ）からなるCIの本質をなおざりにして、マーク・ロゴだけが無意味に残存する例をたくさん見てきました。世界の有名企業の多くは明確な企業理念と行動指針を持ち、社員の意識も高く期待通りの事業を展開し、これらをシェアするインパクトのあるコミュニケーションの中でビジュアルとボイスが一貫しています。マークを目にするだけで、メッセージに触れるだけで、その企業の魅力が見えてきます。これはロータリーのブランディングにも言えることです。手っ取り早くは、社会の話題となるような奉仕プロジェクトを仕掛け、ロータリーのボイスを意識したメッセージと、ストーリーテリング、自分自身のこととしてロータリーでの体験や感動を語る。会場の設営やPR素材は、ビジュアル・アイデンティティを統一し、ロータリーカラーと正しいロゴを使用する。要所は画像で取り込みネットで配信するだけでいいのです。ブランディングは、ロータリーと社会とを繋ぐインターフェイス、時々刻々コミュニケーション手段は変わります。嘗ては電車の中でサラリーマンが手にしていたのは新聞、家庭ではテレビ。ところが今では電車の中では皆がスマホを見て、家庭ではテレビより長時間SNSにつながっています。是非是非お試しください。



ポール・ハリス・ソサエティ（以降PHSとする）へのご協力をお願いします。



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐
吉原 久司（尾道RC）

PHSとは毎年継続的に1,000米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、ロータリー災害救援基金、財団が承認した補助金のいずれかに寄付して下さるロータリー会員とロータリー財団支援者を認証するものです。

2013年に創設されて以来PHSは大きく成長してきました。その寄付額はロータリー財団年次基金の21%、財団への寄付全体の20%を占めています。PHSの会員数は2014年に10,607人（84か国）でしたが2023-24年度には32,000人以上（154か国）にまで増えています。世界のPHS会員数の上位国は①米国 15,530②韓国 5,805③インド 1,705④日本 1,396名となっています。（2023年11月1日現在）

PHSに入会には入会時に一括で1,000米ドルを寄付する必要はなく、各年度に合計が1,000米ドルとなるように、どのように寄付するかは寄付者が決めることが出来ます。その後の年度も、一括で1,000米ドルでも、ロータリー年度末までに少額を何回かに分けても、どちらでも結構です。入会方法はマイロータリーPHSのページから開くことが出来ますし各地区のガバナー事務局からも手続きをとることが出来ます。認証方法は地区単位で行われるプログラムであり、贈呈の方法は各地区で異なります。ガバナー並びにエレクトの皆様は地区大会などの公式行事の際に認証式を行うなど積極的に取り組んで頂きたいと思えます。

ポール・ハリスは、「どんな白昼夢でも、それが良い夢で、実現させることが出来るのなら、悪い癖とは言えない」と言ったそうです。ロータリーでは、地元や世界で素晴らしいプロジェクトや活動を行うことで、夢を実現しますが、これは、ロータリアンや支援者の方々の惜しみない寄附があるからこそ可能となります。ぜひ皆様方にはPHSの精神をお汲み取り頂き入会をして頂けるようお願い申し上げます。

2023-24年度(2023年7月1日～)
地区別 ポール・ハリス・ソサエティ会員数と増加数

第1地域 14地区

地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計
PHS数 (本年度 増加数)	13 (2)	84 (2)	5	47 (7)	2	24 (2)	21 (1)	38 (9)	45 (2)	73 (2)	5 (1)	117 (4)	17 (1)	7	498 (33)

第2地域 9地区

地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計
PHS数 (本年度 増加数)	116 (2)	53 (1)	12	11 (2)	11 (1)	30 (1)	222 (11)	68 (24)	33 (1)	556 (43)

第3地域 11地区

地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計
PHS数 (本年度 増加数)	14	17	70 (2)	9	22	87 (2)	118 (3)	12 (4)	23 (3)	11 (3)	14 (6)	397 (23)

合計
1,451名
(99名増)

2024年4月4日現在

新会員紹介・一緒にロータリーライフを楽しみましょう(敬称略・クラブ順)

尼崎東



石井 宏尚
ビジネスサービス
4/17入会

川西



村松 喜完
電子機器製造・販売
5/10入会

芦屋



黄田 智也
料理店(中華)
4/3入会

篠山



馬場 晶大
都市銀行
5/15入会

神戸須磨



山口 普史
自動車整備
5/7入会

加古川



松崎 正誠
神道
5/7入会

加古川



漣 隆司
都市銀行
5/7入会

加古川中央



武田 真和
不動産管理
5/1入会

姫路西



中村 恒彦
特装自動車の製造販売
2/7入会



村上 泰基
損害保険業
4/3入会



岡本 亮
土地家屋調査士
4/3入会



玉野 裕枝
司法書士
4/3入会

龍野



青田 賢治
信用金庫
5/1入会



田中俊一郎
商業銀行
5/1入会

豊岡円山川



中川 和久
建設請負業
5/7入会

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

メジャードナー



乙守 典厚
(神戸東)



磯田 雅司
(尼崎東)



藤田 邦夫
(西宮)



高橋 秀仁
(西宮)



竹内 博
(西宮)



田和 良久
(西宮)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



鍛冶川清司
(神戸)



垣田 宗彦
(神戸)



永松 潔和
(神戸)



角南 忠昭
(神戸)



和田 直哉
(神戸)



常次 佳丈
(神崎)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ご寄付ありがとうございます(敬称略・クラブ順)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



辻 洋一郎
(上郡佐用)



太田 叶子
(尼崎東)



金子 敬之
(柏原)



竹内 理弘
(柏原)



松田 幸治
(神戸)



塩田 善朗
(神戸)

米山功労者(9回)

米山功労者(4回)

米山功労者(3回)

米山功労者(2回)



佐井 奇正
(神戸東)



井口 洋子
(上郡佐用)



三宅 康雄
(芦屋)



工藤 恭孝
(神戸東)



太田 叶子
(尼崎東)



石川 泰平
(神戸東)

米山功労者(2回)

米山功労者(1回)



高瀬幸一郎
(西脇)



辻 洋一郎
(上郡佐用)



安田 亨
(尼崎東)



小倉 智弘
(芦屋川)



多田 善計
(神戸東)

ご冥福をお祈り申し上げます



故 五百旗頭 真 氏(神戸東)
3月6日 享年81
(名誉会員)



故 中西 貞 氏(川西)
4月19日 享年74



故 一宮 英樹 氏(生野)
4月19日 享年62



故 田中 洋 氏(豊岡)
5月16日 享年67

国際ロータリー第2680地区 ロータリークラブ 2024年4月会員数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数												グループ	クラブ名	例会数	会 員 数														
			7月1日 (期首)		4月の 入退会		4月末		本年度累計									7月1日 (期首)		4月の 入退会		4月末		本年度累計								
			総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減	うち女性				総数	うち女性	入会	退会	総数	うち女性	入会	うち女性	退会	うち女性	増減	うち女性			
尼崎	尼崎	4	30	3	0	0	29	3	0	0	1	0	-1	0	東播第一	明石	3	32	2	0	0	32	2	1	0	1	0	0	0	0		
	尼崎北	4	37	0	0	0	36	1	3	1	4	0	-1	1		明石東	4	47	4	0	0	49	4	3	0	1	0	2	0	0		
	尼崎東	4	56	3	1	0	64	4	10	1	2	0	8	1		明石北	4	40	0	0	0	40	0	2	0	2	0	0	0	0		
	尼崎西	4	34	3	0	0	45	4	13	2	2	1	11	1		小計	119	6	0	0	121	6	6	0	4	0	2	0	0			
	尼崎南	4	31	6	0	0	33	7	2	1	0	0	2	1		高砂	3	32	2	0	0	33	2	2	0	1	0	1	0	0		
	尼崎中	4	13	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0		加古川	4	73	0	0	0	73	0	2	0	2	0	0	0	0		
阪神第一	小計		201	15	1	0	220	19	28	5	9	1	19	4	東播第二	加古川中央	3	60	2	0	0	58	2	1	0	3	0	-2	0	0		
	伊丹	4	40	0	0	0	39	0	0	0	1	0	-1	0		高砂青松	3	39	3	0	0	39	3	0	0	0	0	0	0	0		
	川西	4	24	2	0	1	24	3	2	1	2	0	0	1		加古川平成	3	17	3	0	0	17	3	0	0	0	0	0	0	0		
	川西猪名川	3	14	3	1	0	18	4	4	1	0	0	4	1		小計	221	10	0	0	220	10	5	0	6	0	-1	0	0			
	西宮イブニング	3	11	2	0	0	12	2	1	0	0	0	1	0		三木	4	48	1	2	0	51	1	4	0	1	0	3	0	0		
	小計		89	7	1	1	93	9	7	2	3	0	4	2		小野加東	4	39	0	1	1	38	0	4	0	5	0	-1	0	0		
阪神第二	西宮	4	54	1	1	0	54	1	4	0	4	0	0	0	東播第三	北条	4	33	2	0	0	33	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
	芦屋	4	42	0	1	0	43	0	3	0	2	0	1	0		西脇	4	47	1	1	0	48	1	3	0	2	0	1	0	0		
	甲子園	4	45	3	0	0	46	3	1	0	0	0	1	0		三木みどり	3	27	1	0	0	28	1	1	0	0	0	1	0	0		
	西宮夙川	3	27	2	0	0	25	2	0	0	2	0	-2	0		小計	194	5	4	1	198	5	12	0	8	0	4	0	0			
	芦屋川	4	26	3	0	0	24	3	0	0	2	0	-2	0		洲本	4	30	1	1	0	30	1	3	0	3	0	0	0	0		
	西宮恵美寿	4	19	3	0	0	21	3	2	0	0	0	2	0		南淡路	4	23	4	0	0	20	4	0	0	3	0	-3	0	0		
阪神第三	小計		213	12	2	0	213	12	10	0	10	0	0	0	淡路	淡路三原	4	13	0	0	1	11	0	0	0	2	0	-2	0	0		
	宝塚	3		0	1			3	1	3	0		1	津名		4	36	2	0	0	36	2	1	0	1	0	0	0	0			
	宝塚ユニバース ロータリー衛星クラブ	2	46	13	0	0	46	14	0	0	0	0		0		あわじ中央	3	18	0	0	0	17	0	0	0	1	0	-1	0	0		
	三田	3	13	0	0	0	14	0	1	0	0	0	1	0		小計	120	7	1	1	114	7	4	0	10	0	-6	0	0			
	篠山	4	40	0	0	0	39	0	1	0	2	0	-1	0		姫路	4	81	0	1	0	83	0	6	0	4	0	2	0	0		
	柏原	3	41	0	1	0	42	0	2	0	1	0	1	0		姫路南	4	75	0	0	0	76	1	6	1	5	0	1	1	0		
	宝塚武庫川	3	32	2	0	0	32	2	0	0	0	0	0	0		姫路西	4	54	1	3	0	59	2	6	1	1	0	5	1	0		
	三田南	3	5	0	0	0	6	0	1	0	0	0	1	0		姫路东	4	62	5	0	0	63	5	4	0	3	0	1	0	0		
	HYOGO REC	4	14	2	0	0	14	2	0	0	0	0	0	0		神崎	3	26	0	0	0	25	1	2	1	3	0	-1	1	0		
	小計		191	17	1	1	193	18	8	1	6	0	2	1		姫路中央	2	5	1	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0		
神戸第一	神戸	4	157	4	0	8	144	4	4	0	17	0	-13	0	西播第一	小計	303	7	4	0	311	10	24	3	16	0	8	3	0			
	神戸東	4	110	1	0	0	104	1	1	0	7	0	-6	0		西播第二	赤穂	4	34	0	2	1	35	0	2	0	1	0	1	0	1	0
	神戸東灘	3	29	5	0	0	30	7	3	2	2	0	1	2			相生	4	28	2	0	1	26	2	0	0	2	0	-2	0	0	
	神戸南	4	86	0	0	0	87	0	2	0	1	0	1	0			龍野	4	32	3	0	0	29	2	2	0	5	1	-3	-1	0	
	神戸六甲	3	11	0	0	0	8	0	0	0	3	0	-3	0			上郡佐用	3	27	6	0	0	25	6	1	1	3	1	-2	0	0	
	神戸ベイ	3	12	1	0	0	12	1	1	0	1	0	0	0			小計	121	11	2	2	115	10	5	1	11	2	-6	-1	0		
神戸第二	小計		405	11	0	8	385	13	11	2	31	0	-20	2	但馬		豊岡	4	35	1	0	0	40	1	5	0	0	0	5	0	0	
	神戸西	4	54	9	0	0	54	8	4	0	4	1	0	-1		0	生野	4	22	1	0	1	21	1	0	0	1	0	-1	0	0	
	神戸須磨	4	35	1	0	0	37	1	2	0	0	0	2	0		香住	4	12	0	0	0	13	0	1	0	0	0	1	0	0		
	神戸垂水	4	21	6	0	0	19	6	0	0	2	0	-2	0		豊岡円山川	5	30	0	0	0	29	0	0	0	1	0	-1	0	0		
	神戸西神	4	34	2	0	0	34	2	1	0	1	0	0	0		和田山	4	22	1	0	0	22	1	1	0	1	0	0	0	0		
	神戸中	4	31	7	0	0	31	7	1	0	1	0	0	0		小計	121	3	0	1	125	3	7	0	3	0	4	0	0			
	神戸モーニング	4	25	3	0	0	26	4	2	1	1	0	1	1		合計	68RC (+1RSC※)	2,498	139	16	15	2,509	150	137	15	126	4	11	11	0		
	小計		200	28	0	0	201	28	10	1	9	1	1	0																		

※RSC＝ロータリー衛星クラブの略称 ※宝塚ユニバースRSCの会員数は、宝塚RCの会員数に含まれます。

国際ロータリー第2680地区 ローターアクトクラブ 2023年12月会員数

クラブ名	会員数		クラブ名	会員数	
	総数	うち女性		総数	うち女性
姫路RAC	7	3	豊岡RAC	8	4
神戸RAC	8	3	芦屋川RAC	6	2
淡路RAC	2	0	加古川中央RAC	3	2
神戸須磨RAC	9	3	尼崎西RAC	8	5
柏原RAC	1	0	合計 9RAC	52	22

◆ロータリークラブ数 68RC
..... 1RSC

◆2023年7月1日 RC+RSC会員数 2,498人
◆2024年4月末 RC+RSC会員数 2,509人
◆2024年4月末 RC+RSC女性会員数 150人
◆期首からの増減 (RC+RSC) 11人増
◆期首からの女性増減 (RC+RSC) 11人増

◆ローターアクトクラブ数 9RAC
◆2023年12月末 RAC会員数 52人
◆2023年12月末 RAC女性会員数 22人

※RAC：2023年12月末時点の情報を記載しております。